



公明党 中村 文明 12
信号機の無い横断歩道対策

問市民からの要望でもある信号機の無い横断歩道の安全対策を含めた交通安全対策について市としてどのように考えるか。

答市民部長 本市では、交通安全対策の大綱となる第10次川越市交通安全計画を平成29年1月に定めている。本計画では、「人優先の交通安全思想を基本とし、適切かつ効果的な交通安全に関する

諸施策について、市民の理解と協力のもと、関係機関等と緊密な連携を図り、強力に推進していくこととしている。今後

もこの考えの下、交通安全を1件でも減らすよう、警察および関係機関との連携を密にし、各種交通安全対策に取り組んでいきたい。



公明党 田畑 たき子 13
フレイル予防について

問ボランティアが担い手となるようなフレイルサポーターの養成について、市の見解を伺う。

答福祉部長 現在、本市では、市民の健康づくり、介護予防等を支援する団体組織がある。地区担当保健師、保健推進員、食生活改善推進員が地域において健康・栄養に関する啓発活動を行い、また、介護予防サポーターを養成

成し地域で活動している。これらの活動は、フレイル予防に関連が深いことから、フレイルチェックや低栄養防止等の知識を必要に応じて習得し、現在の活動に加える工夫をするなど、フレイルサポーターとしての機能を発揮できるような関係課と連携し検討していきたい。

受動喫煙防止
フレイル予防



清令会 中原 秀文 14
健康増進のための公園活用

問「健康寿命日本一」を目指して、健康づくりに公園を積極的に活用すべく考えるが、健康増進のための公園活用をどう考えるか。

答保健医療部長 公園は、身近な場所であり、健康づくりや地域のコミュニティ形成の場として活用することについて、効果的な場所であると認識している。現在、市では、

市民が自主的に公園を活用しているラジオ体操会場を紹介している。今後は、公園を活用して行っているさまざまな健康増進活動についても、ホームページで紹介するなど、市民が気軽に健康増進活動に参加でき、健康寿命の延伸が図れるよう、関係課、関係団体等と連携し取り組んでいきたい。

健康増進の公園づくり



自由民主党 海沼 秀幸 15
旧安比奈線鉄道路敷の活用

問大東地区の大田街道や幹線道路において慢性的な渋滞が発生している。地元からの要望がある、旧安比奈線鉄道路敷の道路化への進捗は？

答建設部長 旧安比奈線周辺の交通状況は、国道16号へ接続する幹線道路において慢性的な交通渋滞が発生していると地元から聞いている。さらに、産業団地としての土地利

用が計画されていることから、さらなる交通渋滞が懸念されている。旧安比奈線鉄道路敷の活用については、その形状や位置から、道路としての活用を念頭に周辺道路も含めた交通問題解決に寄与する道路として、具体的な検討を進めようとしているところである。

不法投棄
大東地域の諸課題



政策フォーラム 高橋 剛 16
蔵inガルテンと下水道

問蔵inガルテン川越からの汚水の排水は、稲作に使われる用水の水質に影響を及ぼさず、農家が安心して営農できるように下水道につなぐべきでは

答市長 グリーンツーリズムの拠点となる蔵inガルテン川越に係る施設整備に当たっては、農業者の営農環境に配慮しながら、事業を進めていきたい。

改修後の農業ふれあいセンターや新たに整備するパーベキュー施設の汚水排水は、下水道接続についても、制度面、予算面、技術面の課題などを整理し、検討していきたい。

蔵inガルテン川越
道路環境整備



清令会 小野澤 康弘 17
城下町川越の再認識を伺う

問川越市の都市的性格を分析する上で最も重要な要素を成すのはかつて城下町であったことである。そこで、城下町川越の再認識に係る市長の考えは

答市長 川越は、城下町として栄え、江戸時代から今日まで産業・経済・文化・観光等の拠点として発展してきたとあり、今でもまちなかの随所に城下町である名残がある。

初雁公園基本計画を策定し、川越城址公園としての整備に向けた準備や、蔵造りの町並みが重要伝統的建造物群保存地区選定から今年で20周年を迎えること等を契機とし、

今後は、川越城や、城下町としての十カ町四門前の町割り等、歴史的特性を生かした各種振興方策の検討を進めていきたい。

城下町川越の再認識

